

# 令和7年 第1回 政治倫理審査会 会議録

日 時：令和7年7月31日（木） 9時00分～10時30分

場 所：役場3階 全員協議会室

参加者：森議長、柿沼議員、橋本和之議員、酒巻広明議員、大澤成樹議員、原口剛議員、橋本博之議員、金子浩二議員、茂木琴絵議員、下山議会事務局長

---

## 1. 開 会

## 2. 委嘱状の交付

## 3. 議長挨拶

○森議長 皆様、お集まりいただきありがとうございます。

今般、7月16日付で、千代田町議会議員政治倫理要綱に基づく審査請求書が提出されました。これを受けまして、要綱第5条に基づき、千代田町議会議員政治倫理審査会を設置し、審査を付託することといたしました。今回は第1回会議ですので、私の方で会議を召集させていただきました。

本審査会は、町民の信頼に応える開かれた議会運営の一環として、議員の政治倫理に関する事項について適切かつ公正に審査を行うための重要な機関です。本日は、次第にありますとおり、正副委員長の選出、会議の公開・非公開について、審査方法について、審査請求の内容についてなどが議事となっております。提出された審査請求書の具体的内容を確認の上、今後の対応方針や調査の方向性をご議論いただきます。委員の皆様におかれましては、誠実かつ公正な審議をお願い申し上げます。

本審査会が町民の信頼を損なうことのない健全な議会運営につながるものとなりますよう、何卒ご尽力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 4. 議 事

### （1）正副委員長の互選について

○下山局長 それでは、早速でございますが、次第に沿って進行させていただきます。

4番の議事の(1)正副委員長の互選についてでございます。まず、委員長の互選につきまして、こちらの方法でございますが、委員会条例の第9条第2項の規定に準じまして、委員長が決まるまでの間、年長の委員であります柿沼委員に委員長の職務をお願いして、委員長の選出をお願いできればと思います。それでは、柿沼委員、委員長席の方へご移動をお願いいたします。

○森議長 私の方は委員には属してないんですけれども、議長は各委員会に出席できるということですので、端に座らせていただきます。

(暫時休憩)

○柿沼臨時委員長 それでは、暫時座長を務めさせていただきます。

初めに、議事(1)正副委員長の互選についてでございます。まず、委員長の互選の方法でございますが、委員会条例第9条第2項の規定に準じて、委員長が決まるまでの間、年長の議員である私が職務を進めさせていただきます。よろしくお願いします。

それでは、早々ですが、委員長の互選を行います。委員会条例第8条2項の規定により、委員長は委員会において互選することになっております。

お諮りいたします。委員長の互選は、指名推薦あるいは投票のいずれかの方法で行いたいと思いますが、いかがしたらよろしいでしょうか。

○酒巻委員 指名推薦でよろしいかと思いますが。

○柿沼臨時委員長 ただ今、酒巻委員の方から指名推薦との発言がありましたが、指名推薦の方法により委員長の互選を行うことにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○柿沼臨時委員長 ご異議なしと認めます。よって、指名推薦といたします。これより委員長の候補者につきましては、ご意見等を伺います。どなたかご推挙いただけますか。

○橋本和之委員 最年長議員である柿沼議員がよろしいかと思いますが。

○柿沼臨時委員長 他に。ただ今、委員長に柿沼委員を推薦する発言がありましたが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○柿沼臨時委員長 ご異議なしと認めます。よって、私、柿沼が委員長に決定されました。

それでは、自分ですけども、ご挨拶いたします。

この度、委員長を拝命いたしました柿沼でございます。政治倫理審査会は、千代田町議会始まって以来初めての開催となります。公平公正運営に努めてまいりたいと思いますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、これより私の方で進行させていただきます。

次に、副委員長の互選を行います。委員会条例第8条第2項の規定により、副委員長は、委員会において互選することとなっております。

お諮りいたします。副委員長の互選は、指名推薦あるいは投票のいずれかの方法で行いたいと思いま

すが、いかがしたらよろしいでしょうか。

○酒巻委員 委員長と同様で指名推薦がいいかと思います。

○柿沼委員長 ただいま酒巻委員から指名推薦との発言がありましたが、指名推薦の方法により副委員長の互選を行うことにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○柿沼委員長 ご異議なしと認めます。よって、指名推薦といたします。

これより、副委員長の候補者につきまして、ご意見等ございましたらお伺いいたします。どなたかご推挙いただけますか。

○大澤委員 金子議員がいいかと思います。

○柿沼委員長 ただ今、副委員長に金子委員を推薦する発言がありましたが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○柿沼委員長 ご異議なしと認めます。よって、金子委員が副委員長に決定されました。

それでは、金子委員はご挨拶をお願いします。

○金子副委員長 政治倫理審査会の副委員長、拝命させていただきます。

公平に、悪いことは悪いという判断をして、委員長と一緒にしていきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

○柿沼委員長 暫時休憩します。

(暫時休憩)

## (2) 会議の公開・非公開について

○柿沼委員長 休憩を閉じます。

次に、議事(2)会議の公開・非公開についてを議題といたします。事務局に説明を求めます。

○下山局長 それでは、次第の(2)、会議の公開、非公開について説明をさせていただきます。

要綱の第6条、第4条の規定によりまして、審査会の会議につきましては原則公開となります。ただ

し、やむを得ない場合に限りまして、出席委員の3分の2以上の同意をもって非公開とすることができ  
ます。つきましては、今後の会議の公開・非公開は、要綱の規定に従い、原則公開することといたしま  
して、会議の内容により非公開が適当と思われる場合は、その都度、会議前に委員の皆様にお諮りいた  
しまして、3分の2以上の委員の同意があれば非公開とするという取り扱いでよろしいかどうか、ご協  
議いただければと思います。

○柿沼委員長 事務局か説明がありましたが、これについて委員の意見を求めます。ご意見ございま  
すか。

○橋本和之委員 これ、公開って、やる場所はどうするんですか。議場でやる予定でしょうか。

○下山局長 会場はこちらになります。

○橋本和之委員 原則公開なんで公開するとして、一般の方が入ってくるとすると、もうこの辺にぞろ  
ぞろぞろって入ってくるような、そんなイメージでしょうか。

○下山局長 そういうことになります。

○柿沼委員長 よろしいですか。他に。

○下山局長 付け加えて申し上げますが、今回、会議を公開することになりますので、当然、会議録に  
つきましても全て公開という取り扱いになります。

○柿沼委員長 それでは、原則公開ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○柿沼委員長 では、そのようにいたします。

### (3) 審査方法について

○柿沼委員長 次に、議事(3)審査方法についてを議題といたします。事務局に説明を求めます。

○下山局長 それでは、(3)審査方法について説明をさせていただきます。資料をご覧くださいまして、  
政治倫理審査会の流れのページをご覧くださいいただければと思います。

まず、審査会の審査に入る前段といたしまして、ちょっと記載がございませんけれども、審査対象の  
適否について審査をしていただきます。審査請求の内容について、要綱に基づき審査することが妥当で

あるか否かについてということでございます。こちらの中で、今回の審査会に諮ることが適当だという結論に至った場合は、審査会の本審査の流れに入るような形になります。

それでは、資料の記載に従って説明させていただきますと、まず、審査会の方の1の事実確認でございいます。審査が妥当と判断された場合は、審査請求者に出席を求め、請求内容についてご説明をいただき、質疑を経まして、各委員からご意見を賜ります。必要に応じて資料請求を行うことができます。審査対象議員にもご出席をいただきまして、事情を聴取するとともに、弁明の機会を設けます。同じく質疑を行い、各委員からのご意見を賜ります。これらの結果を踏まえまして、政治倫理基準に違反する行為の存否について審査をしていただきます。

資料の要綱をご覧くださいまして、要綱の第3条に規定する政治倫理基準、こちらの各号のいずれかに違反する行為が実際にあったか否かについて、事実確認の結果に基づき審査をしていただきます。資料が戻りまして、審査会の流れの方に戻りますが、続いて2番の政治倫理基準に抵触するか否かの審査、そして3番の措置の審査でございいます。こちらについて、先程の審査の中で違反する行為があったと判断された場合に、事情聴取や資料確認等の結果を踏まえまして、政治倫理基準の違反があったかどうか、違反の有無についてを審査していただきまして、委員会としての措置を検討していただきます。

次に、4番の審査結果報告書の確認と、5番、議長に審査結果の提出でございいます。こちらにつきましては、最終的に審査会としての審査結果報告として取りまとめまして、議長に報告書を提出いたします。なお、要綱第7条の規定によりまして、審査会は、議長が審査請求を受けた日から90日以内に付託された審査を終え、議長に審査結果を文書でしなければならないとされております。

議長は、審査会からの審査結果報告書を受けた後、報告を受けた日から7日以内に、報告書の写しを審査請求代表者及び審査対象議員に送付するとともに、報告の概要を町民に公開することとなります。また、議長は、報告事項を尊重し、対象議員に対して必要な措置を講ずるということになります。審査会の流れにつきましては以上でございいます。

**○柿沼委員長** 説明について質疑がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

**○橋本和之委員** これは基本的に1日で終える予定でいますか。この後、多分日程とかも相談するんだと思うんですが、審査請求者から事情を聞いて、その後対象議員にもお話を聞くってことですが、1日で一応やる予定でいるのかどうなのか。そこで問題、結論まで持っていくのか、それとも都度都度、じゃあ今日はここまで終わったから、じゃあ次の日程決めて、そこでまた続きをやりましょうっていくのか。そういう、例えばもう分割して、やるとすれば3日ぐらいに分けて元々やる予定でいるのかとか、その辺ちょっとどんな感じなのか、局長が答えるんだと思うんですけど。

**○下山局長** この後、最後の方で皆さんにご協議いただきたいと思うんですけれども、そこは委員の皆様のお考えに基づいての進行になるかと思えます。ただ今後、今説明させていただいた通り、審査請求者からの事実確認、それから審査対象議員に対しての事実確認と弁明、それらの結果に基づいての政治審査基準に対しての違反の有無等を審査していただく形になりますので、一般的に考えますと、審査請求者に対する事情聴取で、次回1回で、その次、審査対象議員に対する事情聴取と弁明で1回、それらの審査結果を整理した上で、政治倫理基準違反の有無について審査していただくところで1回、その結

論に基づいて、審査報告書を取りまとめて、その報告を仕上げるところでまた1回、そういった流れに通常はなってくるかと思います。ただ、その内容に応じて、ここは同日開催できるんじゃないかとか、そういう委員さんからの議論、提案等があれば、それに応じた進行にすることもできるかと思います。その辺については委員の皆様でご協議いただければと思います。

○柿沼委員長 局長が言われたように、やっぱり4回、5回なり、やっぱり慎重にやっぱりやっていくべきだと思いますので、論点整理をしながらやっていくべきで、やっぱり慎重を期すという意味で、局長の言われた通りだと思います。それから、取りまとめにあたっては、第三者と言いますか、客観的に我々が取りまとめるんだけど、町の弁護士さんがいるわけなので、そういったアドバイスも入れて、公正な、あるいはその我々がやるのが正しいのかどうか、法律的な観点からアドバイスを受けたいなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○森議長 費用についてはどのようなになるのでしょうか。

○下山局長 費用に関しては、町の方で顧問弁護士と契約しているかと思うので、その契約の範囲の中であれば、手続きに則ってご相談なりはできるのかなと思います。その内容によって、その町の契約の範囲外とかっていうことになるような形でしたら、個別にという形も可能性はゼロではないですが、基本的には町と顧問弁護士との契約の範囲内で対応できるものと現状は想定しております。

○柿沼委員長 では、取りまとめにあたっては、町の弁護士さんのアドバイスを入れて更正を期すということよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○柿沼委員長 ありがとうございます。それでは、毎回毎回こう手順を踏んで、4回なり5回なり、委員の皆様にはご足労おかけしますが、よろしくお願いいたします。

#### (4) 審査請求の内容について

○柿沼委員長 それでは、4番、審査請求の内容についてを議題といたします。事務局に説明を求めます。

○下山局長 それでは、次第の議事の4番、審査請求の内容について説明をさせていただきます。今般提出された審査請求書、こちらをご覧くださいと思います。

まず、審査請求書の提出日でございますが、令和7年7月16日付、審査請求の代表者につきましては畑中弘司議員でございます。

次に、下の方になりますが、1番の審査対象議員の氏名につきましては、大谷純一議員でございます。

次に、2番の違反していると疑う政治倫理基準につきましては、こちらの書類上の記載では第2条2号と記載されております。

次に、3番の違反していると疑うに足る事実の概要につきましては、こちらそのまま読み上げますと、「議員個人が発刊した広報誌に事実と異なる文書を記載し、千代田町議会広報委員会を侮辱した文章を掲載、記載した件、同じく千代田町議会の批判を伺える文章の掲載の件」となっております。

次に、4番の上記事実が政治倫理基準違反であると疑う理由でございますが、こちらそのまま読み上げますと、「議員個人が発刊した広報誌に対し、各議員からの質問と訂正に対し明確な答えと対応を行わないまま、広報誌を配布し続けていたこと」となっております。

5番の添付資料としまして、証拠説明書、署名簿、審査対象議員が政治に基準に違反していると疑いに至る事実を証する資料ということで、この後に続くページの方にそれらの資料を添付させていただいております。

なお、2ページ目につきましては、証拠説明書といたしまして、審査請求代表者から提出された内容を提示させていただいております。内容につきましては、下記の表の方に番号1から番号4までそれぞれ記載がございますので、こちらの詳細の説明はちょっと省きますが、ご覧いただければと思います。

また、その後のページにつきましては、今回の審査請求の趣旨に賛同し、署名をいただいた各委員の署名簿の方を掲載させていただいております。今回の署名簿につきましては、署名簿に記載の通り、1番から5番までの各議員、名簿を読み上げますと、金子浩二議員、橋本博之議員、茂木琴絵議員、柿沼英己議員、酒巻広明議員、以上5名の方々が本審査請求の趣旨に賛同し、署名をさせていただいてるということで、こちらの提出がありました。

それから、資料になりますが、今回の審査請求の案件に関して、審査対象議員である大谷議員から配布が行われましたチラシの写しの方を添付させていただいております。審査請求の内容につきましては以上でございます。

○柿沼委員長 説明が終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

○下山局長 ただいま事務局の方で説明をさせていただきましたが、審査会の流れでも申し上げました通り、まずはこちらの審査会の方でこちらの審査請求の内容について審査すべきか否かについてを今回ご協議いただきまして、とりあえずその結果をいただきたいと考えております。その上で、審査会の方で今後審査していくことが適切だというご判断になれば、第2回以降の審査会について、またこの後協議をお願いできればと考えております。

○柿沼委員長 局長が言われたように、審査会に付すべきということで、審査請求の趣旨に賛同した議員の、他の方がどのように考えているか、まずそれをお聞きした方が早いかなと思うんで。では、原口委員から行きますか。

○原口委員 審査請求書の2番で、政治倫理要綱の第2条2号ってあるんですけど、これは責務を言ってるので、その行為に違反したっていうのは第3条に書かれてたと思うんですよ。3条の何号に違反したのかが明確に示されてないので、そこをしっかりと請求するのが1つと、あと、いくつか誤字脱字

があるんですけど、この請求書をそのまま受理して審査するっていうなると、不備がある請求書でも受理するのかっていうのがあるので、その辺のちょっと私は問題があるかと思います。

○柿沼委員長 では、大澤委員。

○大澤委員 署名がなかったことについてということと、説明でよろしいですか。だから、賛同するかどうか。賛同するかどうかについては、賛同いたします。

○柿沼委員長 橋本委員。

○橋本和之委員 この設置について賛同するかしないかっていうと、個人的には議会では取り上げない方がいいかなとは思ってます。ただ、4分の1集まればやるってことなので、やるという認識でいますと。あとさっきの局長の話の流れと、原口委員が今おっしゃったところなんですけど、このどこに違反してるかっていうのを、第3条の中から選びなさいよと、最終的にはっていうちょっとお話があったので、そこには違反してると思われるそこには入ってないかなとは思いました。ただ、別にそこが違っても開くことはできるんだろうなとは思ってはいるんですけども。

○柿沼委員長 いろんな意見があって結構ですけども、一応規定によって多数ですので、審査会の方でやっていくということで、局長、よろしいでしょうか。多数になったということで、委員会としてということで出していく、それでよろしいかと思います。

では、審査会としては、審査会をやっていくに足りるという結論に達したということで、今後、審査会の流れが出ましたけども、これからその事実確認、まず第一に、審査請求者に出席説明を求めるってことからですかね。局長、どうですかね。

○下山局長 今、原口委員からもお話がありました、審査請求書の内容についての不備であったり誤字脱字であったりの取り扱いについて、まずどうするかをご協議いただければと思います。

○柿沼委員長 まず、不備があるという点について、これは審査請求者に投げかけて、それでまた訂正してもらうなり、そういったことでよろしいですか。どうなんですかね、その辺は。

○原口委員 この時点でもう公式な文書になってますので。ここで訂正するんであれば、1回これを閉じた後に、もう1回審査請求書って改めて出すのが筋だと思うんですよ。ここで訂正をしてこのまま継続するってなると、ちょっと違うと思うんですよ。これで署名してる人がいるんですから。その人にもやっぱそこまでちゃんと確認した上で署名しないといけないと私は思うんですよ。なんでこれを、この請求書を。で、この審査会が発足したわけですから、これで受けるんであれば、あとは委員長の判断で私は結構だと思います。

○柿沼委員長 政治倫理要綱の2条の2だよな。これ読ませていただくと、「議員は、政治倫理に反す



る事実があるとの疑惑を持たれたときは、自ら潔い態度をもって疑惑の解明にあたるとともに、その責任を明らかにしなければならない」。

○橋本和之委員 さっき私もよく分かってなかったんですけど、局長の説明を聞いて、簡単に言うと、この第2条から選ぶじゃなくて第3条の中から選ばなくちゃいけない、だと思うんですね。この2番の違反していると疑う政治倫理基準ってところの説明が、審査請求書のね。そうすると、おそらく第3条の(1)あたりを持ってるのが多分いいんだと思います、結論から言うと。

○柿沼委員長 橋本委員が言われるように、第3条の(1)、これも入れた方がいいですよ、その請求の要求のところで、本当はね。要するに不備があるってということなんでしょうか、これは。

○下山局長 要綱の第4条、審査の請求というところがあるんですけども、こちらには、町民または議員は、議員が政治倫理基準に違反する行為をした疑いがあるときは、これを証する資料を添えて云々ということで、疑義に対して、政治倫理基準に違反する行為の存否の審査を請求することができるという記載があります。政治倫理基準に違反する行為をした疑いということですので、ここで言うところの政治倫理基準については、当然、こちらの要綱第3条に記載されている政治倫理基準の各号、1号から8号までありますけれども、こちらのいずれかに違反する行為があると疑われた場合に審査請求を行うことができるという解釈になります。

当然ながら、審査請求にあたっては、このいずれかに違反するのかという疑いを持って審査請求をしていただくことになりますが、今回の審査請求の記載上では、こちらの政治倫理基準のどれに違反するかという記載が現状ない状況ですので、これを判断するに至る状況には現状ないということになります。

ですので、まずは、審査請求代表者に対して、この倫理基準のどれに違反するのかというところを確認する必要があるかと思います。それにあって、この書類を受けた状態で書類の補正をさせるのか、あるいは書類の出し直しをさせるのか、あるいはこのまま次回の審査請求代表者に対しての事実確認を行う中でこの辺を確認していくのか、その辺のやり方について、審査会としてどう今後対応していくのかというところをご検討いただければいいかと思います。

○柿沼委員長 局長から何点かアドバイスをいただきまして、不備があるということは事実ですので、政治倫理基準の3番、3条の1ですか、これだと思うので、一度、あれですか、代表者である畑中議員の方に差し戻して、訂正した上でやっていくってことでよろしいでしょうか。

○森議長 畑中議員からは、きちんと説明をしなかったと、しかも配布を続けたっていうことを問題にしているんですね、最初のを見ますと。すると、2条の2項っていうのは、疑惑を持たれた時には潔い態度を持って疑惑の解明に当たらなければいけないっていうことを規定してますので、疑惑を持たれたのに解明をしなかったというのが、この全体的なこの倫理要綱の中の2条の2に当てはまるのかなと。全く当てはまらないってということもないのかなという風に思うんですね。これは1番じゃないかっていうのは、委員会としては、畑中さんに聞くのはいいと思いますけど、それも出し直しっていうと、またこれ、1から、今日のこの会議をもう1回やらなきゃいけなくなりますので、出し直しよりかは、

訂正とかあるいは真意を聞くとか、そういう、私はいんじゃないのであれですけど、ちょっとそういう風にちょっと思いましたので。

**○柿沼委員長** 今、先ほど議長の方から、第2条の2でもよろしいんじゃないかっていうようなお話がございました。橋本委員からは、3条の1も当てはまるねっていうようなご指摘もございましたので、それも入れた方が私なんかはいいかななんて思ってるんですよ。先ほど言うように、これについては、次回、手続き的にはどうなのか分かんないんだけど、畑中議員の話を聞く中で、3条の1もありますという話が出れば、その請願のところに訂正で3条の1も追加で入れるってことを認めるっていうか、そういうこともできるかなとは思んですけど、いかが取り計らいましょうか。畑中議員に聞かないとわからない部分もあるんですけども、請求書の。

**○茂木委員** まず、ちょっと局長に伺いたいのは、この請求書に関して、例えば訂正印を押して、それがまかり通るものなのかということが第1点お聞きしたいのと、あとは、皆さんがここに違反しているんじゃないかっていうのはやはりその第三者からの意見なので、ここは畑中議員がどのように考えてどこに違反しているのかを訂正するなりする場合に、これとこれですっていうのを明らかに提示していただいた方がいいと思うんですね。それをちゃんと記載するなり、先ほどお話したように、局長の方でちょっと調べていただくなりして、訂正印で済むのであれば、確かに原口委員のおっしゃったように、その誤字脱字があるであるとか不備があるというのは非常に問題だと思うので、そちらを直してというのは当然のことだと思います。ただ、それが今までにない状態であったりとか、あと、その請求書に関しての訂正ができないのであれば、ここは残念ですけど、もう一度、差し戻しじゃないですが、一旦は畑中議員にお話をして、その旨直していただいて、署名する議員は署名をしてもう一度っていうことになり得るかと思います。

**○柿沼委員長** 茂木委員からありましたように、客観的に見て、それが通じる世界なのかどうか、訂正でね。その辺のところ、局長、もしちゃんとやんなきゃダメだよっていうのがあれば、差し戻しもあるかなと思うんですけど、どうですか。

**○下山局長** ここは事務局が判断するのではなくて、審査会として認めるかどうかということになるかと思います。こちらに関して、一度正式に提出がある前に、実際のところ、審査請求者の方から事務局の方に、こういったことを出したいがよろしいかということの確認は一度ありました。ただそれが、非常に短時間の中で、事務局の方で確認なり補正の依頼をかける前に正式な文書が提出されてしまったので、補正をしていただく暇が正直ございませんでした。その状況で事務局としてはお預かりしたものでございますので、実際、補正すべき内容がある部分があることについては事務局としても承知していますが、補正するタイミングがなかったということをご理解いただきたいと思います。

その上で、こちらの書類を一旦差し戻して、正式に受付せずに、差し戻して再提出していただくという取り扱いをする場合は、冒頭にも申し上げました通り、今回の審査会に関しては、本件審査請求の審査終了までが委員の任期になりますので、差し戻しをした時点で審査会の委員の任期も終了になります。ですので、再提出があった段階で再度審査会の委員を委嘱して、改めて審査会を立ち上げるという取り

扱いになろうかと思います。

書類の補正をする場合に関しては、現状の審査会の動きの中で対応できることと思いますので、そちらについては、委員の皆様方の了解のもとで、審査請求代表者の方に現状の書類を補正させる対応を求めることとして、その補正された審査請求書あるいは添付資料に基づいて、改めて、政治倫理基準に違反する行為があったかどうかというところを、第3条各号のいずれかに違反するという審査請求代表者の見解を持って、その辺の行為の存否を審査会でご判断いただいて、改めて審査に入るかどうかというところをその段階でご判断いただく形になろうかと思います。いずれの取り扱いか、差し戻して改めて1からやり直すのか、あるいは現状の審査会の中で代表者に対して対応を促すのか、その辺についてのご判断を委員会の中でいただきたいと思います。

○**柿沼委員長** 2点示していただいたんですけども、どうですか。不備があるとは承知したので、提出者に、代表者に補正、その基準のその補正を求めた上で、それを協議するっていう方向でよろしいでしょうか。また追加というか訂正した形で、その文書でやるということでもいいですかね。全部差し戻しちゃいます。それで、また1から立ち上げるって。

○**森議長** これ、提出者に質問する機会があるので、誤字脱字もその時に、これは誤字じゃないですかって聞くのはどうなんでしょうか。今、もし再提出って言って、これを青ペンでやって戻すっていうことになるんでしょうか。

○**柿沼委員長** 何点か局長の方がここを直した方がいいとかアドバイスしていただいて、その形で提出者が補正をかけて、不備を直した形で、それをたたき台にやるということがいいと思うんですよ。不備のままやっちゃうと。

○**下山局長** 既にこちらの審査請求書に関しては、審査会の議題として上がっていますので、委員の皆様にももう既にご確認いただいておりますので、委員の皆様からここを補正した方がよろしいところをまず挙げていただいて、それを踏まえて、事務局の方で審査請求代表者の方に連絡を取って補正の依頼をかけたいと思いますので、まずは、どこを補正していただくのかというのは、こちらの会議を開いていますので、この場でご議論いただければと思います。

○**金子副委員長** 2番の違反していると疑う政治倫理基準の基準って書いてあるから3番って導かれちゃうんですか。その基準を削除すれば問題ないのかなとは思いますが。政治倫理に違反してるって、疑う。違います。

○**原口委員** まず、政治倫理要綱で第3条は判断基準が示されてるんですよ、政治倫理基準。その1から8に対しての行為が、大谷議員が配布したビラがどこに当たるのかで、それを5W1Hで、いつ、誰が、どのように、何をしたのかっていうのを明確に書いて請求書を書かないと判断のしようがないんですよ。どうしてもこれですと感情的になってるんで、客観的に判断できる材料で請求書を書いていただきたいんですよ。それが公式な文書のやり取りになるわけです。なので、請求書の2番の基準をなくすからど

うのこうではなくて、政治倫理要綱の第3条の判断、整理、倫理基準の1から8のどこに当たるのかを明確に書いて、それが具体的に、いつ誰がどのようなことをしたのかっていうところをちゃんと書いてくれないと判断しようがないんですよ。まず1点はそこです。あと誤字脱字ですけど、これをちゃんと書けない請求書で、もしこれが次回訂正とかでやった場合、公開されますと、町民の方にそれが全部知られてしまいます。こういう誤字脱字がある中で、議会はこういうことを受けてやってるのかっていうのも笑われてしまうので、私は1回これを閉めて、再度提出した方がいいと思います。

○柿沼委員長 では、慎重を期す上で、委員から指摘されてる点について再度訂正した形でやるっていう方向で、第3条の1号だと思っただけど、原口委員の言う誤字脱字っていうのはどういうところですかね。

○原口委員 「著名簿」ってなんですか。「著名簿」って初めて聞いたんですけど、「著名」の「著」、わかります。署名するのですかね。全部「署名」が「著名」になってるんですよ。これが本当にそのまま受けて訂正でやるんでしたら、訂正だらけでみっともない書類を千代田町議会の政治倫理審査会は審査なんですかっていうのは、町民の方に、さらけ出してしまいます。

○柿沼委員長 他にありますか。

○森議長 この第4号様式とこの「著名簿」っていうのはこれ、ひな形があったんでしょうか。局長にお聞きしたい。この言葉っていうのはこういうものなんでしょうか。

○下山局長 本町議会の政治倫理要綱の規定では、各様式に関しては特段の定めがありません。ですので、審査請求代表者の方から問い合わせをいただいた際には、その旨を説明させていただいております。その上で、今回の提出者におかれましては、ご自身で様式を他のところから引用した形で今回の書式を作成したものと推察されます。ですので、本来不要である第何号様式、第何条関係、そういったものに関しても、こちらの元の引用された様式の方に記載があったため、そのままこちらの記載もあるものと思われまふ。その他の文面についても、引用元からそのまま使っている文面になっているものかと思ひます。ですので、必ずしも本町の要綱の内容に従った書式になっているということではございません。

○柿沼委員長 では、大変ですけども、もう1回不備があるということで直していただいた上で、それをもとにやるということでよろしいでしょうか。

○茂木委員 ちょっとお聞きしたいのですが。この場合には、法律、一事不再理じゃないですけど、同じことで2度と出せないみたいなことはないのでしょうか。

○柿沼委員長 その辺についてはどうなんですかね。

○森議長 受け付けてないのでいいんじゃないかと。受け付けた後はダメかもしれないですけど、受け付ける前なのでいいか私は思いましたけども。意味があるのかっていう。審査して、審査した後はダメなんだ。

○柿沼委員長 じゃ、ちゃんと不備のない形にして議論を進めるっていうことでやりたいなと思うんですけど、どうですかね。

○茂木委員 私も初めてのことで、多分、先ほど局長のお話があったように、初めてのことでわからないことも多く、不備があるのはほんとに大変かと思うんですが、皆さんにもご足労かけると思うのですが、ここは確かに原口委員のおっしゃったように、ちゃんとしていかないといけないと思うので、この委員会で一旦、ここでまず問題になる前に、確かに何がどこでどうっていうのをしっかりと明確に具体的に書いてもらうっていうのが、皆さんの公開の目に当たった時に確かかなと思います。

私、署名したのはなぜかという、その前もっての皆さんとの話し合いであるとか、そういう話を聞いていた上だったので、拝見した時に確かにそうだなというので署名させていただきましたが、確かに他の方が見たときに、ここに不備がある、ここに不備がある、何がどうなってるかよく具体的に分からないと言った場合には大変になりますので、今この段階では、一旦畑中議員に不備等があったので再提出を求めますという形で締めるっていうのは可能なのでしょうか。もしそれであれば、一旦そういう形で畑中議員に再提出を求めて、それでもう1度大変ですが開くという形を取った方が確かにスムーズに行きますし、次のあってはいけないことですが、万が一次に会ったときに雛形が、雛形っていうとすごく失礼ですが、こういう前例がありますということで、多分局長の方も対応しやすくなるでしょうし、色々調べるっていう前に、まずそのちゃんとしたものをあげてもらった方がいいのかなと思うので、まずそれを畑中議員の方にお願ひするっていう形で、一旦閉じた方が私は懸命かなっていう気がします。そうしないと、色々、ここが違ったじゃないか、ここが違ったじゃないかっていうのでつつかれる場合もありますので、まずそこのかなって気がしますが、先ほどもお話したように、ないと、一事不再理的なことが議会のこの倫理委員会でもあるのであれば、それはちょっと、1回下げたんだからもう出せないよっていう風に言われた場合には、非常にちょっと心苦しいかなっていう気はします。

○下山局長 今、一事不再理のお話が出たんですけれども、個人的な見解として申し上げますが、現段階ではその審査結果が出ている段階では全くありませんので、その段階で差し戻しをして、それが再度審査会にお諮りできないということには当たらないのかなと思います。ですので、差し戻しなり修正なりは対応していただくことでよろしいかと思います。あとは、一旦審査会を閉じるのか、あるいはこのまま継続する中で、審査会の意見として書類の補正を求めるということで、審査請求代表者に書類の補正を求めて、その再提出を受けた上で再度引き続き手続きに入るという流れにするか、そのどちらかになるのかなと思います。

○柿沼委員長 では、局長から言われたように、不備があるので、畑中議員に補正、修正を求めて、その上で会議を開くということでよろしいでしょうか。

○森議長 具体的にここを直せっていうのは委員長から伝えていただければと思います。ただ、漠然と直せって言われても直しようがないので、こことここが問題になったので、これを直せば受け付けるっていう話ですよ。

○金子副委員長 他にももしあります。

○森議長 後から、再提出させてまたこれ違うって言われるという困るので、今日はっきりさせて伝えた方がいいと思います。

○金子副委員長 他にも何か気づいたところあれば。

○茂木委員 私も初めてだったんですけど、この一番最初に署名をするときにどうなんだろうと思ったのが、この一番最初の審査請求書って書いてあるところの第2条第2項って書いてありますが、この証拠説明のところの、第3号様式って書いてあるところなんですけど、ここには第2条の項目が入ってないんですね。空欄になっているので、第2条第空欄項になっているので、多分ここも修正をかけないといけないですし、この部分も、第3条の方の何項に当たるのかっていうのが明確にあるのであれば、こうした方がいいんじゃないかっていう、畑中議員の方に示せるとは思うのですが。

○金子副委員長 もう一度説明してもらって。

○茂木委員 先ほどのお話があった、この審査請求しますというところの第2番目ですね。違反していると疑う政治倫理基準というところに第2条第2号とございますが、その次のところの証拠説明書の部分には、第2条のこの部分が抜けてるんですね。多分、畑中議員もかなりどこが入るのか迷って、3条と2条で迷って入れなかったのか、単純なミスなのか、ちょっと私にはわからないのですが、この部分も入れていただくようなことになるのではないかと思います。ただ、先ほどの局長の話であると、この政治倫理基準の違反なので、第3条の中から取るのが的確であると思います。なので、2条は、ただ、その書いてあるのが責務なので、これをしなければいけない責務としての条項なので、違反に関しては、第3条の1から8の中から複数個取っていいのはわかりませんが、第3条の中のこと、こことここが今回はおかしいんじゃないかっていうのを畑中委員の方に示してあげれば、すぐに新しいというか改正されたものが出てくると思いますし、原口委員がお話したように、この違反していると、その疑う政治倫理基準、2番ですね、ここの部分も、確かに何月何日に配布したというのは紛れもない事実です。まず最初に、その何月何日に何の地区に何枚ぐらいのビラが撒かれたのか、そしてその後、5日の日に皆さんで話し合いをして、これはあまりよろしくないで少し考えてくれないか、こういうものはいけないと思うというのが多数決である。多数決というか、ほぼほぼ議員の皆さんが、これは個人で書いたけど、ちょっと文言的にはミスリードしやすいのでおかしいのではないかという結論が出たはず。その時に、録音してないので何も証拠はございませんが、大谷議員もわかりましたと言ったんですね。にもかかわらず、5日過ぎの6日の日曜日、7日月曜日、私は存じ上げませんが、そのあ

とも配っていたという事実があるわけです。その事実をしっかりと記載をした方がいいと思います。そうすれば、1回配っただけでなんで悪いの、そうではなくて、私たちは確かに5日の時に控えていただきたい、私はやめていただきたいと言いました。皆さんの中にも、控えていただきたい、よく思っていないという意見は非常に多かったと思います。その件もちゃんとある程度記載して、事実としての私の意見ではなく、事実として、どここの地区に約何枚配られた、それも一番最初、その新聞社であるとかそういうところに断られたものを手配りで何枚配られたというのをしっかり書いた方がいいと思います。この場合、一番最初にちょっと私がどうかなと思った、まあ分かるのでいいのかなと思ったんですけど、配布されたものは広報誌ではなくて個人のビラなので、その部分の文言もどうなのかなってというのはちょっと疑問に思うところではあるんですね。なので、その部分を直すなり修正するなりっていうのを示してあげるといいのではないかなと思います。

○柿沼委員長 そうしますと、その時系列ごとに。

○原口委員 確かに茂木さんが言ったことはわかるんですよ。1回意見交換会の後に議員みんなで話合ってやめましようねって言ったのは知ってます。でも、それがこの政治倫理要綱の何番に当たるかなんです。それはどこにも書いてないんですよ。個人のビラなんで、これは何を書いてもいいんですよ。共産党なんかもっとすごいことを書いてますから。それを、税金を使った、こういう場で審議するのにふさわしい行為なのかどうか。もっと言えば、本当であれば、地方自治法とか公職選挙法、法律に完全に違反してますよっていう行為が、5W1Hって書かれたことに対して審査をするのが政治倫理審査会なんですよ。なんで、私は、大谷議員が私費で配ったビラの内容が不満だろうが、的外れなこと言ったとしても、それは政治倫理審査会で取り上げる議題ではないと思います。それが他の自治体でもそういう形になってますので、そここのところ委員長の判断でよろしくをお願いします。

○柿沼委員長 いや、これは委員長判断ではなくて、皆さんの意見がどうなのかっていうのを確認しないとダメなんで。

○茂木委員 いや、ここは、今の段階は畑中議員が出すってということが問題なので、まずそこじゃないですか。それに違反するとかではなくて、まず最初に、多分畑中委員はこの3条の1項であるとかっていうのに違反していると思ったので、そういう文章を書いて、これから提出という形になりますので、その部分で助言をするだけであって、感情的な、これはいけないとかない、中身がどうとかっていうのはその次の段階で話し合うべきことなので、今回はこの適切に出されるように審査請求書の方を修正をかけるなりっていうのを働きかけるという形になりますので、その何が違反してる、違反してないっていうのはこれから出された次の段階なので、まずは出していただくときにどのような形で出してもらった方がいいのかという話なので、私は、先ほどもお話したように、これだとちょっと分かりにくいので、具体的に何月何日に配られたっていう、確かにその原口委員が言ったように、そのような形にするのは非常にいいことだと思うので、何月何日っていうのを、要するに事実だけです、事実確認として書いてもらって提出していただければいいと思います。別に、その時に円座でみんなやったのに、あーだったこうだったって、それは全然書かなくていいんですよ。そうではなくて、一応5日の日に話し合

いを持ち、その後も配布が続いたっていうその事実だけを書けばいいのであって、私は先ほどその気持ちをお話ししましたが、それはここに載せる必要は全くなく、そうではなくて、先ほども、何度も言いますが、事実だけを書いていただく。しかも、具体的に何月何日に、令和7年7月1日から3日間の間に赤岩地区、約何戸みたいな形に書いていただければ、多分他の方が、その外部の方であるとか一般の方が見た時に分かりやすいですし、次にそういう問題が起きた時に、このぐらいに具体的に書かないとダメなんだというのがよくわかっていいのではないかなと思います。その後に、違反するか違反してないかっていうのはまた別の話ですので、まずはこの書面に関しての話を私はしています。書面に関して出すのであれば、そういう形で書いていただくのがいいのではないかなと思います。

**○森議長** とりあえず今回の書面だけ、ここをこう訂正すれば受け付けるっていうのであれば、今回のことだけで、茂木委員が言うようなことはなしにして、ここだけ修正っていうのであればすぐ受け付けると。しかし、1回これ却下して、きちんとした書類を作って再提出っていうのであれば、そこからまた審査っていうのも、別にそれ畑中議員が選べるのかなっていう気もします。その辺は、今回決めるのは、ここにある、今指摘したところだけ訂正すれば次回そのまま受け付けますよっていう約束で畑中議員にそれを指摘する、あるいは、茂木委員が言うように、きちんと書類として審査できるような形で再提出してくれて言った場合は、ちょっと時間かかるかもしれないですけど、再提出したのをもう1回審査する、最初からっていうふうになるのかとは思うんですけど。

**○柿沼委員長** それでは、畑中議員には不備があるということで、再提出で。またそれから、それを元に議論するというところでよろしいでしょうか。

**○茂木委員** ちょっとまず、この時系列からすると、7月16日に出されていますが、その事実が発覚したのは7月の1日から。私が知ってるのは7月の初旬に配布してっていうことで、皆さんで一旦話し合いで全員が事実確認をしたのが5日じゃないですか。何か日付的に、受理する日にちっていうのは特にないんですかね。その発覚、問題発覚から受理までの間が関係ないんですか。そうなんですか。失礼いたしました。

**○下山局長** 一般的に考えまして、書類の提出日が7月16日付で、さらに、その違反していると疑う行為が、実際にその事実があったということをもって審査請求をする形になりますので、当然、7月16日以前にその疑われる行為があった、その事実があったという、時系列っていうんですかね、そういう流れになりますので、7月16日付以降の行為に関しては審査請求の対象にはなり得ないかと思いますが、過去の疑われる行為に関しては対象になってくるかと思います。

**○柿沼委員長** 橋本博之委員、何かありますか。大丈夫ですか。では、不備がありますので、政治倫理基準が第3条のどれに当たるのかっていうところを直して、あと、時系列でそういったことも、茂木委員が言ったことも入れた方がいいかもしれないですね、事実のところですね。誤字脱字とか、局長によく見ていただいてやるということで。では、再提出ということよろしいですか。差し戻すということで。委員会として不備があるので、その上で。委員会はこのままで、不備があるので再提出していただいて、



それをもとに議論すると。きれいな状態で議論するということによろしいでしょうか。

○森議長 委員会は閉じない。

○柿沼委員長 閉じないで。よろしいでしょうか。何か。何かありますか。じゃあ、一応とっときますか。では、委員会は保持したまま、書類に不備があるので、局長のアドバイスを受けながら、しっかりと補正を、修正をかけて、それをもとに、その書類をもとに議論するということによろしいでしょうか。賛成の方の挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

○柿沼委員長 では、挙手全員ですので、そういった形で。では、局長、よろしくお願いいたします。

○下山局長 確認よろしいですか。では、委員会として補正を求めるのは、審査請求書の1枚目の、違反していると疑う政治倫理基準が政治倫理要綱の第3条の何号に該当するかというところと、証拠説明書の中の事実を証する資料、この辺の説明の中で、時系列に従って、具体的にどんなことがいつ行われて、どういうところが違反しているというような内容を具体的に記載していただくというところの補正でよろしいでしょうか。それから、証拠説明書の本文記載1行目の政治倫理要綱第2条第空白項に規定するという部分の記載についても、本来であれば、要綱の第3条の各号いずれかに該当するかを記載していただく形になるかと思うので、その旨を補正していただくというところでしょうか。あと、署名簿の本文2番の違反していると疑う政治倫理基準においても同様の記載が要綱第2条2とありますので、これについても、手続の見解に従って、第3条各号のいずれに該当するのかを補正していただくということで、以上の点でよろしいでしょうか。あとは、微細な誤字脱字については、事務局で把握ができた範囲で訂正を求めるということによろしいでしょうか。

○柿沼委員長 では、以上の点を畑中議員の方にちょっと伝えていただけますか。では、よろしくお願いいたします。その他ですか、何かありますか。

○下山局長 では、今後の日程なんですけども、一旦提出者に対して補正を求めることとして、その再提出があった時点で、また次回以降の会議については委員長と相談させていただいた上で設定させていただくということによろしいでしょうか。ご協議いただければと思います。

○森議長 そうすると、畑中議員の書類の提出先は委員長ということによろしいですか。

○下山局長 書面の提出先についてはあくまでも議長宛での提出になりますけれども、補正を求めるのは審査会としての対応になりますので、委員長宛に提出していただいて、委員長の方でご確認いただくという形になろうかと思います。

○柿沼委員長 それでは、政治倫理審査会は千代田町議会始まって以来初めてのことで、手探りで皆様には大変ご苦勞かけると思いますが、今後ともご協力の方よろしく願いいたします。他にありますか。なければ、以上で政治倫理審査会の第1回の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。